

米国経済・株式市場情報

半導体価格とSOX指数の動向

半導体価格下落の中でSOX指数は上昇基調を強めつつある

- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大で半導体価格の下落が続く一方、SOX指数（フィラデルフィア半導体株指数）は上昇基調を強めつつある。
- ▶ 上昇ピッチの速さや予想PER（株価収益率）水準等からみて、足元のSOX指数は過熱感の強い状態にあるように思われる。

(1) 半導体価格の下落続く

- データの一時記憶に使う半導体メモリー、DRAMのスポット（随時契約）価格の下落が続いています。指標となるDDR4型の4ギガ（1ギガは10億）ビット品の価格は足元で1個2ドルを下回り、2020年1月以来の水準に低下しています。米中貿易摩擦の緩和や中国の「5G」（第5世代移動通信システム）搭載端末の量産本格化期待等で、同価格は2019年末頃を境に回復基調入りし、一時は1個2.2ドルを上回る水準に上昇しました。しかし、その後は新型コロナウイルスの感染拡大で高性能スマートフォン向け需要の減少等が影響し、下落傾向をたどっています（図表1）

図表1：DRAMスポット価格



(2) 上昇基調を強めるSOX指数

- 半導体価格が下落する一方、半導体関連銘柄の動きを示すSOX指数は上昇基調を強めつつあります。6月5日には新型コロナウイルス感染拡大前の2月19日につけた史上最高値を更新し、6月19日時点では2019年末を6.3%上回る水準まで上昇しています（図表2）。都市封鎖解除後の経済活動再開の動きや、本格運用がスタートした「5G」向け需要の拡大観測等を材料に、半導体価格が今後上昇に転じるとの見方等が背景にあるものと思われま

図表2：SOX指数とS&P500指数



(3) 足元のSOX指数は過熱感の強い状態

- 急激な上昇でS&P500指数との乖離が広がっていることや（図表2）、予想PERも2011年以降では最高水準まで上昇していること（図表3）等から判断して、足元のSOX指数は過熱感の強い状態にあるように思われます。新型コロナウイルスの感染「第2波」や米中貿易摩擦の再燃等で半導体価格の回復期待が後退する場合には、SOX指数の下落率が大きくなることも想定されます。

図表3：SOX指数の予想PER



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>